

<株式会社エフエム東京 第334回放送番組審議会議事録>

1. 開催年月日：平成18年10月3日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席委員（6名）

子安美知子 委員長  
青池慎一 副委員長 内木文英 委員  
横森美奈子 委員 渡辺貞夫 委員  
内館牧子 委員

◇欠席委員（1名）

香山リカ 委員

4. 番組試聴

【番組名】「あ、安部礼司 ~beyond the average~」

【放送日時】 6月11日（日）17:00～17:55放送分（ダイジェスト版）

【番組概要】 30代のサラリーマンを等身大に描くオフィス・ドラマ。

主人公は、某ソフトウェア会社に勤務する容姿も力量もまさに人並みな平均社員、安部礼司（34才）。来春までに「ご当地ナビ」という新しい画期的なカーナビ用ソフトを生み出すべく、毎週末、全国津々浦々に出張に出向きオリジナル・コンテンツをリサーチ中。放送では毎回、その都市ならではの名物、自慢、方言、名所、言い伝えなどを交えながら、ひとりの普通な30代サラリーマンの目を通して見える今の日本の風景を描いています。

30代の男性なら誰しもが内包しているような「ああ、それあるわ〜」的日常へのシンパシーを軸に、その普通の男が全国の個性的な人々と出会っていく過程でほんの少し、人間としてもビジネスマンとしてもちょっとだけ「素敵な奴」へ変わってゆく模様を、80年代の洋楽/邦楽のヒットソングとともにお送りするラジオドラマです。

<試聴時間：約22分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 最初の説明を聞いて番組に興味をもった。軽妙でテンポが良く、シャレも利いていて興味深く聴かせて頂いた。基本的はオーソドックスなスタイルで、今日的な話題を取り入れているラジオドラマだと思った。全世代から支持をされているTFMらしい番組。ただ、もう少し新しいスタイルでやってみてもいいのでは、と思った。
- やけに軽い番組。例えるなら、本屋に行って冒頭だけ読んで買うのをやめたという印象。じっくり耳を傾けるといよりは、聞き流すという感じ。なんとなく時間を無駄にしているような印象を受けた。
- ラジオドラマは難しい。この材料だけで50分はつらい。せいぜい15分くらいの材料だと思って聴いていた。ドラマの中心となる人物をどのように浮き立たせて表現するか。そこにラジオドラマの難しさがあると思う。全体的に緊張感と主役の個性に乏しい内容。それが物語としての弱さにつながっていたように思う。
- 番組資料に「毎回全国津々浦々に出向き～」とあるが、今回は違う設定だったのか？
- 基本的にはそういう設定で、現地で録った音を織り交ぜながらストーリーを展開していく回もあが、そういう設定ではない回もある。
- 個人的に毎回そういう設定だともっと面白いのではないかと思った。作りが素人っぽい印象を受け、もう少しラジオドラマとして完成度が高く、面白いものが作れるのではないかと思った。ただ、着想は面白いので、やり方でもっとよくなるのではないだろうか。
- 非常に古いと思った。脚本家は若い人か？

■ 比較的若い。コント作家とラジオドラマ作家の共作。

- これはドラマというよりも、フリーペーパーの音声化。スタッフは何を作りたいのかを明確にする必要がある。ドラマとフリーペーパーの音声化ではノウハウも作り方も全く違う。

この番組の一番の問題は古いということ。言葉の使い方によって若さを表現しようとしているが、普通はここまでダサくは表現しないだろう。無理に若さを出そうとしているように思った。また、作り手に材料を練る能力があまり無いように感じた。ドラマを作る前にキャラをきっちり練ることは基本だが、この番組の登場人物のキャラは全員ステレオタイプ。聴いていて古さを感じた。

階段でおばあさんを背負うシーン、結婚式での祝辞の台詞、「電話を切ったら寂しくなった」というナレーション、海外結婚式の話、これらはすべて古くリアリティが無い上に、ありきたりな表現でつまらない。テレビドラマなら門前払い。この程度でギャランティをもらうのか？作り手はもっとプロ意識を持つべき。

切り口は悪くないので、どうすれば面白くなるかということを考えながら聴いていた。まずは、ドラマなのかフリーペーパーの音声化なのかはっきり方向性を持つべき。もっとおしゃれに緊張感を感じさせる作り方はいくらでもあるはず。ラジオドラマはテレビドラマよりも難しい。ただ、ラジオドラマをうまく表現する最低限のルールはあるので、まずはそれを学んでほしい。シーンが分かりにくかったり、SEも効果的に聴こえないのは基本的な問題。今のままでは飽きられると思う。ぜひそのあたりを考え直してほしい。

- 通常試聴番組を聴くときは、自然と内容に引き込まれていくが、今日は、作品に引き込まれる感じは無く、これで55分間リスナーは聴き続けられるのかなあ、と思った。ところどころ面白いアイデアはあったと思うが、作品に引き込まれる感じはなかった。

■ この番組は聴取率が高い番組。ただ、将来的に考えて、このままでいいのかということは我々も意識していた。本日は貴重な意見を頂き、ありがとうございました。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送：番組「Heart Sharing」

10月22日（日） 6：00～8：25放送

② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット：TOKYO FM ホームページ内

<http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は11月7日（火）に開催することを決めた。

以上